

夕刊 二城新聞

行發日七月三
定額 一月四角 三月一元二角 半年二元五角 一年四元五角
零售 每份五分
印刷 印刷局
電話 二二二二
地址 二二二二
（刊休日翌日祭曜日）

「春雨偶感」

卒業生に寄す
鈴木 玲 光

夜もすがら降り続けた綿
糸の様な春雨は今朝になつ
ても吹ひ気がなく軒端に
は雨垂の音が頻りだ、何と
なく湿気を帯びてゐる部屋
の柱にはカレンダ―が三月
五日を示して居る。たまゆ
らに此れを見、此れを聞いて
た僕は今去る自分の學
校卒業時を追憶し、それら
と同時に御身等の現在の感
慨をも想像して居るのだ。
「卒業」春雨何と皮肉な自
然の取り合せであらう
と僕もその當時はこう考へ
てゐた、恐らく卒業の悲哀
を抱いてゐる現在の御身等
も春雨の景物には云ひけれ
ぬ寂しさを深める事であら
う。

中川 浩

地に蠢くもの
香くはしき土のかほりよ
春は土から生れるものだ
信ずる、春雨が草木の結實

磐新歌壇

小山田 滋 選

○山ひだに雪あらはなるこの夕くらき厨に柴折
りくふる
○はきもの、先に開るればさら〜とこぼれて
散りぬ枯草の雪
○朝々の厨の水の溜水を碎きて顔を洗ふつめた
さ
○年木の仕事とたえし工場に焚火圍める人人の
顔

社會の今日

思ひ疑や屏風まはして
春の人 爲 王
春乍ら暮れて吹く風や
や塞し 遊び疲れし子
は泣いて来る
植田 哲治

新刊紹介

△ローマ字同志(第六卷第
三號)我等の同志(童謡う
た)河原みく(木像)につ
いて一冊のお金も紛失し
氣の迷ひ、まア〜下を向
き運ぶ(馬車)中村直能
た例はないといひますか
らひて歩きませう
△(二)野澤千口外敵篇
不思議な事やありませんか
、こんなことを言つて婆
(一部郵税共四銭東京市
淀橋區柏木五ノ九九五其
他郵便局)石橋の方へ向
けたら二人も
乾兒と一緒に見届御門へ
這入つた
諸侯方の屋敷を見ながら
辰の口へ出て評定所や傳
奏の殿のめし美が、りに
驚ろき、それから大手の馬
場先に諸家の仲間りがたひ
ろしてゐる賑ひを見て酒井
雅樂頭の屋敷、一つ御旗
のの前を御つぎ屋の所へ出
て、子孫御門へ抜けたのは、
黄少し過ぎだつた。各見附
御門の形には固めの番士
幾人、弓鐵砲、金紋に猩
々緋馬鹿の馬鹿を推立て、

瓜をかむ女

グイニア・テラマー作
堤 光 泰 譯

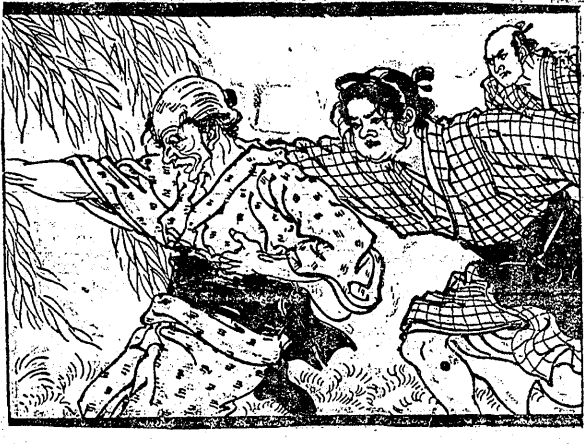
「でも、大抵の方はそれ
充分幸福な生活だとして
ますわ。子供を持つて御主
人を助けてお金のこし、
それに、もし御主人が店
も持つて居れば、一日に三
四時間折々その世話も見
りしてね」
「僕はヘレンの爲にはカ
リアに居たいんです」
「ホニアに居たいんです」
あれの親父さんが僕を其處
に連れて来て、それから幾
分、それを見詰めてゐた。
も、僕が手探手な考へ
も去つて仕舞つたら、山の
手圖書館だつたその店の窓
に「かしや」の札が貼られ
てゐた。彼女が身震ひした
に、驚いてなんぞをよるよ
りしてね」

拈華微笑
六花萬象を淨化
して將軍の平入
りを迎ふ。天心
なしと云ふか
巨人燈籠の刺那
遺族席から嗚咽
土によつて食へ
土によつて生きる、み
んなに春のくるのを
待たうと居る御身等よ
たうとして居る御身等よ
たうとして居る御身等よ
たうとして居る御身等よ

お蘭陀お蝶

渡邊 謙 作
布施長 春 書

「へい！莫大な大金だねえ
よく彼様を送り方をして無
くなつたことだね」
「其處が將軍さまの御威光
でしてね、毎日のやうに撥
んでゐるのをごいですが、
別に送状手形などのお書附
分一でも切つてお返しに
金に有附きたいと思ひます
が……」
「有るところには有るもの
でも困つてゐる者は彼の萬
の方へ目を向ける、子供
に捉まへられた婆さんは紛
れもなく先刻呉服橋で言葉
を交した其人である
お菊も二度と驚愕し
た
「おら、打たれてゐますよ
如何したんでせう可哀想に
なつた
お蝶は黙つて見てゐられ
なくなつて一同を其處に残
した儘で、いで土手の草原
へ駆込んだ
今の公園になつてゐる地
域に其頃は小笠原加賀守の
屋敷があつた、後の土手に
は誰でも上れるところから
路行人は好い休み場所
にして田安御殿(今の近衛兵
營)の松青古城や、雪噴
瀧の半が淵を流るる瀧に
して眺めたものだ。その土
手に生れた楊の下で老婆は
三三人の丁稚らしい少年に
包圍されて地上に突頭がさ
れて穿つてゐた下駄で滅茶
々々に亂打されてゐた
「此ン畜生食食婆、叩ッ殺
すぞ」
「ア、是から自身番へ引
張つてから爾う思へん」



吉田 病院
肉蒲鉾
鹽 豚
田 町
三二二二屋

當籤番號發表

天地堂新築落成記念、蓄音器、萬年筆
及レコード抽籤券附特賣以來御蔭様
を以て豫想以上の好成績を得まして
一月廿四日限り賣り切れと相成りま
した事は各位の熱誠なる御聲援の賜
と厚く御禮を申上ります
就ましては特賣規定に基き關係者立
會の上嚴正なる抽籤の結果當籤致し
ました番號を發表致します
（賞品引）昭和八年三月十日より
換期間 同年 四月十日まで
（期間後は無効とす）

一等

184	187
188	192
198	200
201	204
205	211
219	222
230	238
247	255
261	262
266	272
277	280
280	292
292	295
296	

計50本

二等

3	7	9	14	15	28	31	50	52	77	82	86	89	111	122	124	133	149	151	154	158	161	163	172	180
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

計30本

三等

6	11	13	26	29	34	62	69	75	80	95	97	102	109	126	132	140	150	156	185	190	202	210	233	248	265	271	274	286	289
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

計15本

四等

8	99
---	----

計2本

一等

18	45	53	85	263
----	----	----	----	-----

計5本

二等

1	4	24	30	55	98	110	115	131	203	207	246	273	291	300
---	---	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

計15本

天地堂
平町三丁目
蓄音器
特別代理店
蓄音器
萬年筆
電話 五八九番

